

令和6年度

学校要覧

▼ 附属幼稚園
▼ 附属小学校
▼ 附属中学校

 国立大学法人
兵庫教育大学



兵庫教育大学附属学校園のミッションとビジョン

日本の教師教育をリードする兵庫教育大学の附属学校園として、ミッションとビジョンを遂行し、先導的な教育実践研究を推進するとともに、一人一人の子どもの学びや成長が保障される創造性豊かな教育の実現等をめざします。

ミッション

大学と一体となった先導的な教育実践研究の推進

「教師教育のトップランナー」をビジョンとして掲げる大学と一体となり、先端的な教育手法を取り入れ、理論と実践の融合に取り組み、先導的な教育実践研究を推進します。

新しい時代の教員養成に即した教育実習の実施

学校や社会の変化を見据えつつ、将来学校教員となる学生に対して教育実習を提供し、新たな時代を担う教員の資質・能力の向上に努めます。

地域のモデル校としての役割の遂行

現代的教育課題の解決に挑む教育研究活動を推進し、その成果を地域社会に還元することによって、地域のモデル校としての役割を担います。

ビジョン

学校像

先端的な教育環境のもとで、幼稚園、小学校、中学校の12年間を通して、園児・児童・生徒、教職員、保護者が一体となって、地域社会と連携しながら、一人一人の子どもの学びと成長が保障される創造性豊かな学校をめざします。

子ども像

これからの社会において必要とされる情報活用能力を身に付けるとともに、主体的かつ対話的な教育活動を通して、心身ともにたくましく、未来を切り拓いていける知的創造力と寛容性を兼ね備えた、グローバル社会で活躍できる人間を育成します。

教員像

全国の自治体から附属学校園に派遣される教員が、附属学校教員としての自覚をもち、互いに敬意をもって高め合い、学校における働き方改革を踏まえ、先進的で優れた教育実践に取り組み、地元自治体の中心的な教員として活躍できる資質・能力の向上に努めます。



附属幼稚園

教育目標

教育基本法及び学校教育法等で定められている幼稚園教育の目的と目標の基盤の上に立ち、地域の実態に即して「心身ともにたくましく育てる」ため、次の教育目標を設定し、保育活動の推進にあたる。

健康な体の
子ども

やさしく
豊かな心を
もつ子ども

よく考えて
最後までやりぬく
子ども



幼児の状況

令和6年5月1日現在

学級編成

	3歳児		4歳児		5歳児		合 計
	うめ	もも	ひまわり	ゆり	すみれ	わかば	
男	5	6	5	6	7	7	36
女	3	3	5	4	7	7	29
学級別 合 計	8	9	10	10	14	14	65
学年別 合 計	17		20		28		

地域別

	幼児数 (%)
加東市	39 (60.0)
小野市	14 (21.5)
西脇市	8 (12.3)
三木市	3 (4.6)
三田市	1 (1.6)
合計	65

(5市)

一日の保育の流れ





心身ともにたくましく育てる

本園の特色

うれしいタイム

一人一人の幼児が好きな遊びに取り組みながら、自分の実現したいことに熱中したり、友達と様々なやりとりをしたりしながら、共に遊びを創り出していく場として、「うれしいのタイム」を一日の保育活動の中で「学級・学年の活動」と同じように大切にしています。



「きっずくらぶ」(子育ての支援)

保護者自身が子育ての力を高めることを目指し、「保育参加」「園庭開放」「子育て講座」「子育て相談」などを実施しています。



大学・他校種との連携

大学教員の専門性を生かした活動や附属小・中学校や公立高校との交流を、保育に効果的に取り入れています。



学びと仕事を支える子育て支援

預かり保育（かんがるー一む）
学び、働く保護者の支援と、附属幼稚園の幼児に保育時間後等のふわさしい過ごし方を提供することにより、幼児の健やかな成長を促すことを目的として実施しています。

年間行事

- 毎月 誕生会、発育測定
子ども安全の日(避難訓練・安全点検)
- 随時 ふよっこデー(保育参観・参加)
附属小・中・杜高校との交流活動
子育てひろば(子育ての支援活動)
大学との連携(親子活動
「造形遊び・運動遊び」、陶芸活動他)

4 第一学期始業式・入園式
親子入園・個人懇談
PTA 総会

5 定期健康診断
学校観察実習
教育実習
個人懇談

6 園外保育
プール活動

7 学級懇談会
第一学期終業式

8

9 第二学期始業式
入園募集要項公示

10 運動会
園外保育
入園募集説明会

11 園外保育
入園選考・結果発表

12 ハッピーパーティ
研究発表会
第二学期終業式

1 第三学期始業式
もちつき

2 入園説明会
生活発表会
新入園児親子一日入園
親子愛園作業

3 お別れ会
修了証書授与式
修了式



附属小学校

教育目標

ねばり強く問いつづけ、
よりよいものをつくり出す子

求める

より高い価値を追求する力

はげまし 支え合い
共に伸びる子

支える

やさしく、
きびしくみつめる愛

人間として
生きぬく力を
育てる

強い心とたくましい
体をつくる子

鍛える

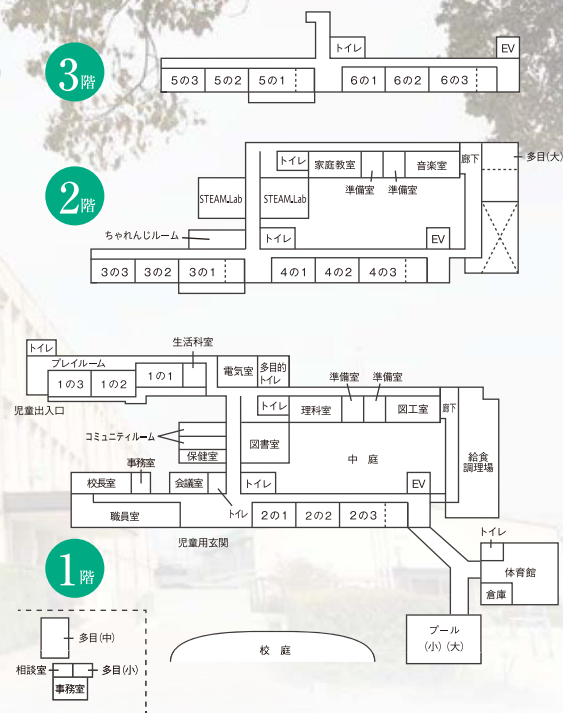
心も体もたくましく、
しかも旺盛な実践力

校舎内配置図

3階

2階

1階



児童の状況

令和6年5月1日現在

学級編成

	1年			2年			3年			合 計
組名	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	
男	13	13	12	11	11	11	13	14	14	
女	11	11	12	10	11	10	10	9	9	
学級別 合計	24	24	24	21	22	21	23	23	23	
学年別 合計	72			64			69			
	4年			5年			6年			
組名	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	
男	11	10	10	13	13	13	16	16	17	
女	14	14	15	10	10	10	15	15	15	
学級別 合計	25	24	25	23	23	23	31	31	32	
学年別 合計	74			69			94			
										442

地域別

	児童数 (%)
加 東 市	212 (48.0)
小 野 市	64 (14.5)
西 脇 市	67 (15.2)
三 木 市	28 (6.3)
多 可 町	1 (0.2)
加 西 市	20 (4.5)
加古川市	15 (3.4)
三 田 市	9 (2.1)
丹波篠山市	8 (1.8)
神 戸 市	7 (1.6)
姫 路 市	7 (1.6)
明 石 市	2 (0.4)
西 宮 市	1 (0.2)
高 砂 市	1 (0.2)
合 計	442

(13市1町)

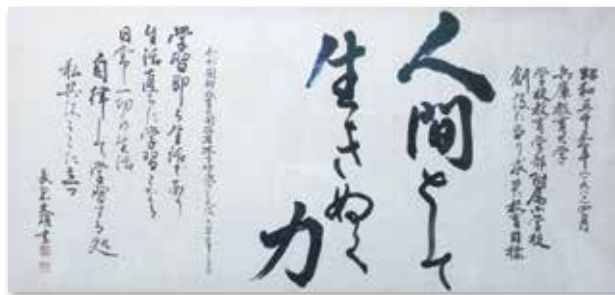


「人間として生きぬく力を育てる」 ために

昭和 55 年創設以来、「人間として生きぬく力」を掲げ、子どもが「学ぶ」ことの大切さ、楽しさを知り、「学び」の本来の意義を理解し、生涯にわたって「学び」続ける力と確かな「人間力」をめざして教育実践を行っています。

「人間として生きぬく力を育てる」ために、以下の 5 つの要素が重要と捉えています。

- Ⅰ 基礎となる学力
- Ⅱ これを駆使してより深い学習を自ら求めていく探究心（学習力）
- Ⅲ 豊かな感性
- Ⅳ 他者の立場で物事を考える思いやりの精神
- Ⅴ 多くの人から愛される立ち居振る舞い



先導的な教育研究の推進 「Society5.0時代を築き、生きぬく子どもの育成」

「時代を築く」創造力の育成には、発散的思考によるイノベーティブな学びと省察的な学びが必要だと捉えています。この2つの学びを両輪として、大学と一体となって STEAM 教育など理論的かつ実践的な研究に取り組んでいます。

特に GIGA スクール構想の実現のため、1 人 1 台 iPad を導入し、主体的・対話的で深い学びの実現をめざしています。そして、これからの変化が激しい社会の中で必要な“創造性”の育成につながる研究を進めています。

地域のモデル校としての役割の遂行

1 年生から教科担任制を導入し、専門的に研究している教科担当の教員が中心となって、質の高い授業と複数の教員による多面的な児童理解を行い、児童一人一人へのきめ細やかな指導・支援をめざしています。

また、新学習指導要領に基づき、プログラミング教育や外国語教育にも取り組んでいます。特に外国語教育では 1 年生から 6 年生まで ALT とのチームティーチングのもと外国語教育を行い、グローバル化が進化していくこれからの時代を生きぬくための子どものコミュニケーション能力を育みます。

学校力 ～豊かな人材と環境、そして温かい仲間～

- ・全国からの人事交流で来た教員が、各地域の学校教育の特色やそこで培った経験を生かし、また、大学と一体となって先進的で優れた教育実践に挑み、より良い教育を行います。
- ・自然豊かな環境のもと、広い校舎と運動場で伸びやかに教育活動を行っています。新しく多目的ホールや相談室、調理場なども設置しました。特別教室などの校舎も改修し、さらに、インテル株式会社などの企業の協力・支援も受け、施設の機能充実を図りました。
- ・1 年生から 6 年生までの縦割りでの学習活動を活発に行い、年齢を超えて多くの友だちと学び合う場を作っています。対話を大切に「自立、共生・協働、創造」の観点から、互いに認め合い成長を喜び合う仲間づくりに取り組んでいます。また、3 附属学校園間の交流も行っています。



確かな学力



たくましい体



豊かな心

年間行事

大学教員と連携した各教科研究会

4 入学式
第一学期始業式・着任式
授業参観・学級懇談会
PTA 総会

5 なかよし遠足
はじめてまじうれしの班
学校観察実習・教育実習

6 スポーツフェスティバル
授業実践交流会
水泳指導（七月まで）
学校説明会・オープンスクール

7 個人懇談
第一学期終業式

8

9 第二学期始業式
修学旅行（六年生）

10 授業実践交流会
教育実習
林間学校（四年生）

11 入学募集要項公示
自然学校（五年生）
学校説明会・オープンスクール

12 入学願書受付
個人懇談
第二学期終業式

1 入学選考・結果発表
第三学期始業式
研究発表大会

2 新一年生入学説明会
ありがとうれしの班
うれしのフェスティバル（仮称）

3 授業参観・学級懇談会
卒業証書授与式
修了式



附属中学校

教育目標

STEAM 教育
の教育理念

附属中学校の学校像

平和で人間らしさが追求できるより良い社会の
実現のために、物事を多角的多面的に理解し、
自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって
行動することで、社会の変化と持続可能性をも
たらし新しい価値を「共創」できる市民の育成
をめざす

探究総合

Agency

校舎内 配置図



生徒の状況

令和6年5月1日現在

学級編成

	1年			2年			3年			合 計
組名	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	
男	12	12	13	13	13	13	17	17	17	
女	13	13	13	17	16	16	17	17	18	
学級別合計	25	25	26	30	29	29	34	34	35	
学年別合計	76			88			103			267

地域別

	生徒数 (%)
加東市	127 (47.6)
小野市	41 (15.4)
西脇市	42 (15.7)
三木市	14 (5.2)
多可町	8 (3.0)
加西市	23 (8.6)
明石市	3 (1.1)
三田市	3 (1.1)
丹波篠山市	3 (1.1)
神戸市	1 (0.4)
西宮市	1 (0.4)
加古川市	1 (0.4)
合計	267

(11市1町)



これからの学校教育の在り方を生徒と教員が共に探究し続ける学校

平成 29 年度から「『総合的な学習の時間』を主軸としたクロスカリキュラム（教科横断的な学び）を通じたクロスカリキュラム・マネジメント」を研究の中核とし、実践研究を積み重ねてきました。平成 30 年度からの 2 年間は、国立教育政策研究所の教育課程研究指定を受け、「先進的な教育とは何か」、「それは生徒や教員にどのような影響を与えるのか」、また「本校の独自性とは何か」という問いと向き合い続けてきました。そして、現在もこれからの学校教育の在り方について研究しています。

令和 5 年度から、これまでの実践にさらに磨きをかけ、本校が積み重ねてきた実践研究と親和性が高く、今後の日本教育のスタンダードとして機能する STEAM 教育の実践開発に本格的に取り組んでいます。したがって、本校は STEAM 教育とこれまでの取り組みを融合させながら、先進的かつ先導的であり良い学校を教育の在り方を、独自性を見ながら研究し、開発を続けます。また、この実践開発を通して、生徒だけでなくそれを実践する教員の資質・能力が向上することを確信しています。それは「教師教育のトップランナー」を謳う兵庫教育大学の附属学校として、大きく価値ある取り組みであると私たちは考えています。

自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する Agency の育成

附属中学校は、OECD Education2030 で提唱されている「Agency」の育成をめざしています。不確実性が高まる社会で、Well-being（より良い個人と社会）をめざすことは重要です。平和でより良い持続可能な社会の実現を念頭に教育研究を進めています。

「生徒も教師も “学び続ける” 探究学習の実現」

キャリア探究総合

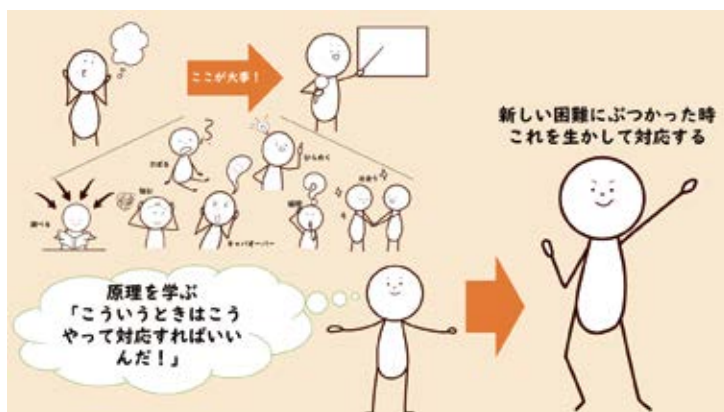
社会に生きるホンモノの大人たちと一緒に、現実社会における課題の改善や、それに向けた資質・能力の向上を図りながら行われる“子どもも大人も学ぶ探究的な学び”の実践



●「自分の好きなこと」×「地域や社会にできること」で人を笑顔に

総合的な学習の時間では Agency を育成するために、「自分の成長を語れるように」ということを大切に、探究学習に取り組んでいます。探究活動の過程の中で、悩んだことや失敗したこと、成功したこと、誰かとの出会い、そこでの気づきや学び、身につけた力こそが、変化の激しい時代において困難に立ち向かうために必要な資質・能力であると考えています。このような気づきや学びを意識化させるために、探究学習を終えて自分がどのように成長したのかを語る活動を行っています。

令和 5 年度は「『自分の好きなこと』×「地域や社会にできること」で人を笑顔に」をテーマとして探究学習に取り組みました。生徒が夢中になって取り組む課題の設定はもちろんのこと、教員も一緒になって探究することで共に学び続ける探究の実現を目指しています。また、探究活動が学校の中だけにとどまることがないよう、地域や企業の方に来ていただき探究に参加していただきました。講義をしていただくだけでなく、生徒と一緒に探究していただくことで、“子どもも大人も学ぶ探究的な学び”の実践をめざしています。



年間行事

クロスカリキュラム研究開発 / 大学教員、地域等と連携したキャリア探究総合

4

第一学期始業式・入学式
生徒会入会式
交通安全教室
三年生修学旅行

5

授業参観 (PTA 総会)
体育大会
防災訓練
情報講演会

6

加東市総合体育大会
期末テスト

7

生徒総会
東播総合体育大会
第一学期終業式
三者懇談
オープンスクール
公開授業研究

8

9

第二学期始業式
加東市新人総合体育大会
一年生わくわくオーケストラ
公開授業研究

10

教育実習
東播新人総合体育大会
友誼祭
小学生対象公開授業

11

入学募集要項公示
期末テスト

12

三者懇談・生徒会選挙
加東市中学校駅伝競走大会
第二学期終業式
公開授業研究

1

三学期始業式
防災訓練
入学選考・結果発表
研究発表会

2

期末テスト
入学説明会

3

三年生を送る会
卒業証書授与式
修了式

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2007-109
☎0795-40-2222 fax:0795-40-2225
<http://www.hyogo-u.ac.jp/middle/>